**ビューティビジネス学会**

**第7全国大会自由論題 研究報告募集！**

* **開催日：2019年10月26日（土）**
* **場所：ハリウッド大学院大学（六本木ヒルズ ハリウッドビューティプラザ）**

**下記の要領で報告者を募集します。多数のご応募をお待ちしています。**

**★自由論題報告募集要項★**

* **申込期間: 受付中～2019年7月31日(水)**
* **申込方法： 以下の参加申込フォームの「自由論題の発表」欄に「希望する」のチェックを**

**入れ送信してください．**

[**https://goo.gl/forms/zobI4S4mCWsBIt5J3**](https://goo.gl/forms/zobI4S4mCWsBIt5J3)

* **執筆要項： 下記参照**
* **原稿受付期間： 2019年8月1日(木)～9月28日（土）**
* **テーマ： ビューティビジネスの価値創造に関するもの**
* **原稿提出方法： 学会事務局(****jabb@jabb.jp****)宛ににe-mail(添付ファイル:word形式)にて**

**ご提出ください．**

**【執筆要項】**

1. 原稿は日本語または英語とする。原稿はMicrosoft Wordで作成すること。書式はA4版横書きとし、文字サイズは、11 ポイントとする（表を除く）。原稿の全ページについて、ページ番号を連続して打つ。日本語原稿の場合、ページ設定は40字×36行とする。
2. 原稿は、①表題②執筆者の名前、所属③連絡先(電話番号またはe-mail)④キーワード(5つまで)⑤本文（図表含）⑥注⑦参考文献の順で構成する。
3. 図表、注、参考文献等を含めた原稿の分量はA4用紙4枚以内（1ページ＝40 字×36 行程度）とする。
4. 図表は「図」（英語では“Figure”）と「表」（同“Table”）とに分け、それぞれ通し番号と標題を付け、本文中に挿入する。なお、表の中に使用する文字に限り、文字サイズは9 ポイント以上とする。

＜例：日本語＞図1 日本企業の知的財産権組織

＜例：英語＞Figure 2 R&D Productivity

＜例：日本語＞表3 川崎重工業の事業部

＜例：英語＞Table 5 U.S. Oil Price

1. 英字および2 桁以上の数字は原則として半角で打つ。数式、数値の記述は通常のシンボルを利用し、特別なシンボルは利用しない。なお、数式等については、一般の専門誌に利用される通常の約束事をこの原稿にも適用する。日本語原稿については、読点は「、」、句点は「。」を全角で打つ。
2. 本文に関する注は本文の後に配置する後注の形式をとり、下記のスタイルをとる。注番号は算用数字で連続して付ける。

＜例＞
【注】
1. 本章の記述のうち、最近のアメリカにおける制度の変更について、尾崎英男氏の示唆を受けた。
2. 詳細の解説については、たとえば尾崎英男（1991）『日本企業のための米国特許紛争対応ガイドブック』日本機械輸出組合、を参照。
3. へンリー幸田（1992）『日米特許紛争スーパーマニュアル』発明協会、63ページ。
4. 尾崎英男、前掲書、85～86ページ。

1. 参考文献は正確に記載し、例示するようなスタイルとする。日本語文献と外国語文献は分けずにABC順とし、英語以外の外国語文献も英語文献に準じて記載する。外国語書籍については斜体とする。

＜例＞

Bacharach, S. B. and M. Aiken （1976） “Structural and Process Constraints on Influence in Organizations: A Level Specific Analysis,” *Administrative Science Quarterly*, December, Vol.21, No.4, pp.623-642.
児玉文男（1990）「知的所有権部の戦略4 新日本製鐵株式会社 知的財産部」『発明』第87 巻第5 号、発明協会、44～76 ページ。
野中郁次郎、加護野忠男、小松陽一、奥村昭博、坂下昭宣（1981）『組織現象の理論と測定』千倉書房。
Posner Barry （1987） “What Takes to be a Good Project Manager,” *Project Management Journal*, March, Vol.34, No.1, pp.123-145.
高橋明夫（1983）『日立の特許管理：企業の未来を拓く特許とその戦略的活用』発明協会、153～156 ページ。
Thamhain, H. J. and D. L. Wilemon （1986） “Criteria for Controlling Projects According to Plan,” *Project Management Journal*, June, Vol.53, No.2, pp.75-96.